

平成30年度 臨時会の結果

議員数=22名 表決参加議員数=21名 *議長は表決には加わりません。

10月23日の第348回臨時会は会期1日で開かれ、9月定例会で継続審査となっていた決算認定議案10件、事件決議案2件、本臨時会において市長から提案された予算案件2件、人事案件1件を審議しました。

いずれの議案も賛成多数、全会一致で、認定、可決、同意となりました。

また、議長に厚地弘行議員、副議長に佐々木智文議員を選出し、新しい議会体制となりました。

賛否のわかれた議案

認定第1号 平成29年度三田市一般会計歳入歳出決算認定について



反対! 可決に 賛成! 棄権 【無党派】 森本

【日本共産党三田市議団】
國永、長尾、長谷川

【新政みらい】 厚地、田中、佐貴、中田、北本
【盟政会】 福田、幸田、白井
【公明党】 平野、松岡、大西
【市民の会】 檜田、美藤、佐々木
【無党派】 多宮、小山、小杉

認定第1号反対討論 マイナンバー制度に関連する決算について、利便性の向上は実感できず、情報漏えい等のリスクを広げているだけだと考える。次に、解放学級事業費について、この事業は「差別に負けない力をつけるため」に行われているが、必要なのは「差別しない」社会をつくることであり、地域を限定して事業を行っている解放学級事業費に反対である。

また、市民病院の継続的な経営に関する審議会は、結論ありきで市民不在の議論が問題である。その他、キッピーモール1階から5階と6階の賃料の逆ザヤ問題や、指定管理者制度になじまない市立図書館の問題等がある。

以上のことから、この議案に反対。

(日本共産党三田市議団 長尾 議員)

認定第1号賛成討論 平成29年度の市の決算は、市民生活に直結する、国民健康保険、介護保険事業は、ともに黒字決算であった。また、水道・下水道事業の企業会計についても純利益を計上している。

マイナンバー制度については、時間的にもエリア的にも利便性があり、経費的にもメリットがあり市民サービスの向上に寄与していると考えます。また、解放学級に関しても、その取り組みは必要であると考えます。

次に市民病院改革プラン推進事業費の審議会開催に関する運営費については、市とは独立した審議会で審議を行い、市は審議会の意見や提言を受け様々な案件の方針を決定するものであり、適正に執行されていると判断する。

以上のことから、健全な財政運営が行われており、この議案に賛成。(盟政会 福田 議員)

議案第79号 平成30年度三田市一般会計補正予算(第4号)



反対! 可決に 賛成!

【日本共産党三田市議団】
國永、長尾、長谷川

【新政みらい】 厚地、田中、佐貴、中田、北本
【盟政会】 福田、幸田、白井
【公明党】 平野、松岡、大西
【市民の会】 檜田、美藤、佐々木
【無党派】 森本、多宮、小山、小杉

議案第79号反対討論 障害者虐待防止事業は、(仮称)障害者共生協議会の開催、専門的支援の確保等となっているが、今回提案の補正予算の説明では、協議会の開催趣旨や期間、人選の仕方などがすでに決まっており、問題だと考える。誰が何をどのように取り組むのか具体策まで決めることは、人権を脅かす恐れを感じる。協議会の人選も公募ではなく、当事者の人権を尊重しているとは思えない。

次に図書館指定管理費は、人件費や図書購入費等を前回の指定時より減額することにより予算を縮小しているが、サービスの低下が心配される。公立図書館は指定管理者制度になじまず、直営で行うべきであると考えます。以上のことからこの議案に反対。

(日本共産党三田市議団 長尾 議員)

議案第79号賛成討論 地域生活支援事業費は、障害者虐待事案に対し、市の対応を検証するために設置した「三田市障害者虐待に係る対応検証委員会」の検証報告を踏まえ、対応するための予算措置を行うものである。なかでも、(仮称)三田市障害者共生協議会は、早急に委員を選出し、議論を開始する必要がある。

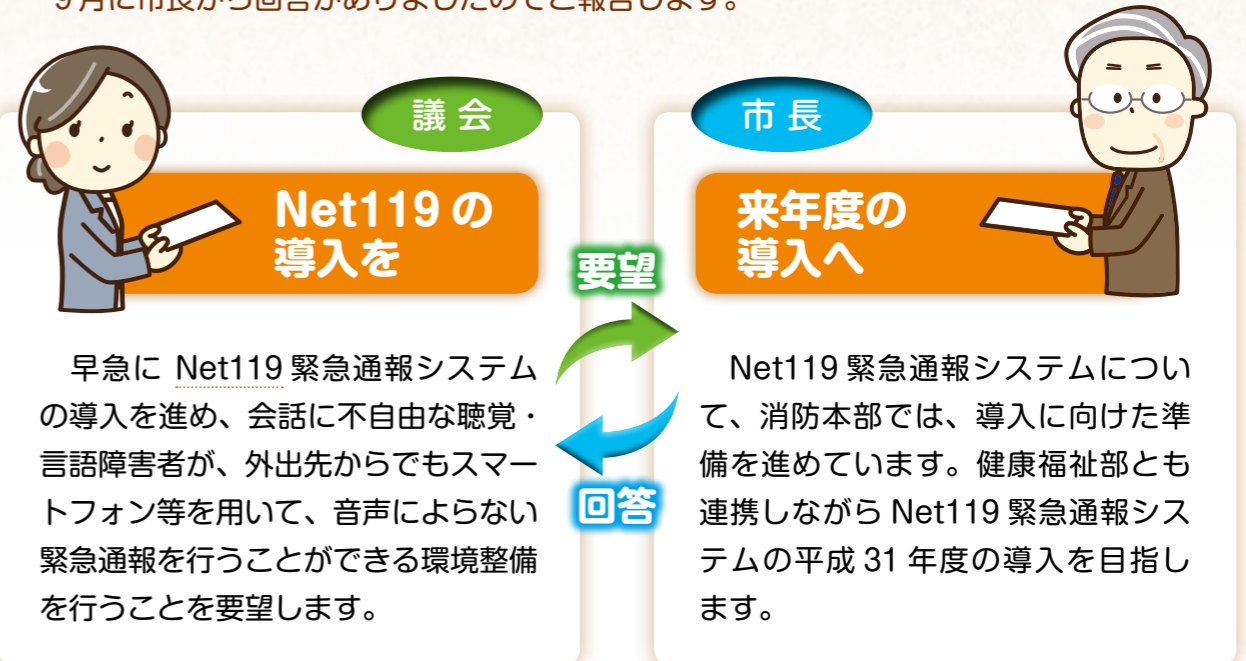
次に、図書館指定管理費は、現在、開館日や開館時間の拡大をはじめ、障害者にやさしいサービスの拡充、調べる学習コンクールの取り組みなど、市民サービスの向上が図られ、利用者からも高い評価を得ており、継続に向け必要な予算であると考えます。さらに、次期更新に向けたプレゼンでは、管理運営経費の大幅な削減やサービス向上が期待できる。

以上のことから、この議案に賛成。(市民の会 美藤 議員)

議会報告会からのお声を届けました!

4月に開催した議会報告会で、市民の皆様からいただいたご意見の中から、下記事項について、7月に市長へ要望書を提出しました。

9月に市長から回答がありましたのでご報告します。



ここが POINT

今回、議会が要望しました Net119 が導入されれば、これまでは、FAX でしか通報することができなかった聴覚や言語機能に障害のある方が、緊急時に外出先からもすぐに通報することが可能となります。

誰もが、すぐに助けを求められることは、安心安全なまちづくりにつながります。

議会は、市へ早期導入の要望を行い、これを受け市からは平成31年度導入に向け事業を進めていくと回答がありました。議会は今後の市の動きを注視していきます。

説明 *Net119 (Net119緊急通報システム) とは: 電話による119番通報が困難な聴覚・言語障害者が、外出中でもスマートフォン等を用いて、インターネットを利用し緊急通報を行うことができるシステムです。通報はタッチパネルの簡単操作で、同時にGPSで位置情報の特定ができ、全国どこからでも通報が可能となります。

